



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,929	△14.1	534	△67.8	518	△73.7	290	△73.3
2019年3月期第3四半期	18,543	3.9	1,662	1.4	1,969	15.0	1,087	36.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 294百万円 (△76.5%) 2019年3月期第3四半期 1,255百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	26.44	26.40
2019年3月期第3四半期	100.38	100.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	27,311	18,848	69.0	1,729.83
2019年3月期	28,385	19,638	69.0	1,717.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,848百万円 2019年3月期 19,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	18.00	-	20.00	38.00
2020年3月期	-	20.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△7.9	850	△45.2	800	△56.0	550	△47.6	50.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,554,200株	2019年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	658,048株	2019年3月期	148,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,000,736株	2019年3月期3Q	10,837,051株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や、英国のEU離脱を巡る懸念などにより、減速傾向となりました。

わが国経済においては、個人消費は底堅く推移しているものの、輸出や生産は弱く、先行き不透明感が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、より特化した特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- ・製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・IoT機器、産業機器、自動車産業など様々な分野の市場要求にマッチした製品をタイムリーに市場に届けていくために、製品開発の迅速化と製品ラインナップの拡大に向けた開発基盤の強化をすることを目的とし、インドアナログ半導体製品開発ファブレスメーカー Cirel Systems Pvt. Ltd. (Kundalahalli, Bangalore, INDIA) と資本提携をいたしました。
- ・地域に密着した営業体制を進め、海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応と営業基盤のより一層の強化に努めました。
- ・関西技術センターの解析力を活用するとともに、協力工場との一層の関係強化を進め、産業機器や車載製品等のターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認定制度への対応を図りました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター株式会社本社工場の第一工場への統合を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高159億29百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益5億34百万円（前年同期比67.8%減）、経常利益5億18百万円（前年同期比73.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億90百万円（前年同期比73.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器、家電分野向けの売上が減少したことにより、106億98百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

②アジア

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器分野向けの売上が減少しましたが、車載分野向けの売上が増加したことにより、43億14百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に家電分野向けの売上が減少したことにより、5億5百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が減少したことにより、4億11百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は185億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億10百万円減少いたしました。これは主に自己株式の取得等により現金及び預金が19億87百万円減少したことによるものであります。固定資産は87億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億35百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が3億16百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産が273億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億74百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は63億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億64百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加に対し、未払法人税等が3億8百万円減少したことによるものであります。固定負債は20億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億49百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計が84億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は188億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億89百万円減少いたしました。これは主に自己株式が5億91百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.0%（前連結会計年度末は69.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月13日の「2020年3月期 第2四半期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,982,083	8,994,332
受取手形及び売掛金	4,016,502	4,043,552
たな卸資産	4,601,888	4,983,922
その他	308,789	577,247
貸倒引当金	△2,604	△2,632
流動資産合計	19,906,658	18,596,421
固定資産		
有形固定資産	6,249,033	5,941,553
無形固定資産	456,767	773,116
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	15,271
その他	1,799,591	2,010,610
貸倒引当金	△26,396	△25,913
投資その他の資産合計	1,773,195	1,999,968
固定資産合計	8,478,995	8,714,637
資産合計	28,385,653	27,311,059
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	909,520	969,500
短期借入金	1,902,775	2,901,640
1年内返済予定の長期借入金	1,021,033	776,700
未払法人税等	326,813	18,184
賞与引当金	388,064	123,992
損害補償損失引当金	—	96,800
その他	1,662,337	1,487,769
流動負債合計	6,210,544	6,374,588
固定負債		
長期借入金	1,747,536	1,282,500
退職給付に係る負債	414,156	410,694
株式給付引当金	33,566	47,774
その他	341,753	346,954
固定負債合計	2,537,012	2,087,923
負債合計	8,747,556	8,462,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,302,952	8,300,583
利益剰余金	8,606,806	8,449,710
自己株式	△206,316	△798,002
株主資本合計	19,671,377	18,920,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87,404	△59,168
為替換算調整勘定	74,061	48,981
退職給付に係る調整累計額	△63,720	△61,490
その他の包括利益累計額合計	△77,063	△71,678
非支配株主持分	43,783	—
純資産合計	19,638,097	18,848,548
負債純資産合計	28,385,653	27,311,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	18,543,845	15,929,956
売上原価	13,201,120	11,792,913
売上総利益	5,342,724	4,137,043
販売費及び一般管理費	3,679,951	3,602,106
営業利益	1,662,773	534,936
営業外収益		
受取利息及び配当金	25,439	23,542
為替差益	271,692	—
ロイヤリティ収入	6,536	5,167
受取賃貸料	21,948	20,284
その他	14,926	13,096
営業外収益合計	340,545	62,092
営業外費用		
支払利息	23,179	18,994
為替差損	—	43,759
支払手数料	6,000	6,000
その他	4,553	9,534
営業外費用合計	33,732	78,288
経常利益	1,969,585	518,740
特別利益		
固定資産売却益	1,638	—
受取保険金	2,255	2,605
保険解約返戻金	—	2,988
その他	886	—
特別利益合計	4,781	5,594
特別損失		
固定資産除売却損	19,637	2,520
損害補償損失引当金繰入額	—	96,800
その他	66	—
特別損失合計	19,703	99,320
税金等調整前四半期純利益	1,954,662	425,014
法人税等	591,579	134,259
四半期純利益	1,363,083	290,754
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	275,209	△192
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,087,874	290,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,363,083	290,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154,635	28,236
為替換算調整勘定	53,512	△26,296
退職給付に係る調整額	△6,698	2,229
その他の包括利益合計	△107,820	4,169
四半期包括利益	1,255,262	294,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,017,668	296,332
非支配株主に係る四半期包括利益	237,593	△1,408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式509,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が591,686千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が798,002千円となっております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	13,259,481	4,146,804	633,236	504,322	18,543,845	—	18,543,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,651,069	284,666	25,105	27,226	4,988,067	△4,988,067	—
計	17,910,551	4,431,471	658,341	531,549	23,531,913	△4,988,067	18,543,845
セグメント利益	1,533,621	91,125	34,399	29,522	1,688,668	△25,894	1,662,773

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△25,894千円には、セグメント間取引消去△25,894千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	14,223,703	2,505,350	1,051,155	763,636	18,543,845

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	10,698,313	4,314,131	505,817	411,694	15,929,956	—	15,929,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,620,703	279,307	22,177	25,917	4,948,106	△4,948,106	—
計	15,319,017	4,593,439	527,994	437,612	20,878,063	△4,948,106	15,929,956
セグメント利益又は損失(△)	431,610	97,439	1,206	△953	529,302	5,634	534,936

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額5,634千円には、セグメント間取引消去5,634千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	11,660,390	2,704,619	901,501	663,445	15,929,956